

開催日時：令和8年2月10日（火） 14時00分から17時30分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、佐々木企画部長、下平リニア推進部長、牧内リニア駅周辺整備担当参事、林市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、浅野産業経済部参事、小倉建設部長、馬場建設部参事、岡本危機管理部長、井田上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、小澤財政課長、松井秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・衆院選の実施にあたり、選挙管理事務局の皆さんは非常に短期間の中での業務となり、苦労が多かったと推察する。選挙事務に従事された多くの職員に感謝する。
- ・選挙対応が短期間で対応できてしまった事実が前例化することを懸念している。市町村はやればできると国に認識され、今後も同様の厳しいスケジュールを要求される恐れがある。実際には準備時間が非常に短かったため、現場は大変困ったという実態がある。今回の選挙対応を記録に残すと同時に国に対して伝えていくことが必要である。
- ・選挙の結果を受け、今後の国政の動向に注視していく必要がある。
- ・令和8年度当初予算の編成作業が概ね完了した。協力に感謝する。「目の前の課題解決」と「リニア中央新幹線開業・三遠南信自動車道全通を見据えた「10年先」の政策」の両方の視点となっている。令和8年度予算も基金の取崩しや基金残高の減少といった非常に財政的には厳しい状況が続いており、各事業部局で事業の見直しをする必要がある。新年度に向けて、事業の執行準備を進めるとともに、引き続き予算規模の抑制について検討すること。
- ・県の当初予算に関連して、施策説明資料を共有した。各部局長は、他部局に関連するものも含めて目を通し、次年度以降、当市の取組につながるような県の取組を把握しておくこと。
- ・1月30日に長野県から発表された2025中の毎月人口異動調査によると、飯田市の社会減は昨年に引き続き県内19市の中で最大となり、減少幅が昨年より拡大している。高齢化に伴う自然減の要因もあるが、県内で社会増に転じている市が多くある中、当市の社会減の現状は重く受け止めなければならない。後期計画の眼目は「人口減少の緩和と適応」であり、各部局においてどのような取組ができるか検討すること。
- ・先日、長野労働局の職業安定部長が来庁され、障がい者雇用の現状について厳しいご指摘をいただいた。一生懸命取り組みもうとしているものの、経験値の不足もあり、十分な対応ができていないところもあるため、アドバイスをお願いした。各部局で受入れてみる。まずは4月以降の会計年度任用職員の採用から始めていく。各課に任されている会計年度任用職員の採用について、各部局で自分事として捉え、検討すること。

<副市長>

- ・準備期間が短く、当日は厳しい寒さの中での選挙対応となり、従事された職員には苦勞をかけた。選挙事務全体を通してどうだったのか、しっかり整理をし、記録に残すこと。
- ・令和8年第1回定例会に向けて、議会への新年度予算案の説明にあたっては、丁寧に対応すること。

<教育長>

- ・先日、外国籍の方によるスピーチ大会に参加し、介護施設で働くネパール出身者の発表が素晴らしかった。雇用先の社長によれば、地元で介護資格を取得した学生が都会へ流出してしまい、介護人材が不足しており、外国籍の方に頼らざるを得ないとのこと。
- ・直近の1年間で日本人が約1,500人減少しているのに対し、外国籍の方は約100人増加している傾向が見られる。今後、外国籍の方とどのようにうまく付き合い、共生していくか考えていく必要がある。

2 その他、連絡事項

- (1) モバイルバッテリーの取扱について（企画部） 連絡事項No.1

- ◇意見
(議会事務局長)
 - ・課長には配布しないのか。
- (デジタル推進課システム管理係長)
 - ・議場に固定席がある方に配布している。

3 報告事項

(1) 遠山郷学園小学校の再編について 資料No.1

- ◇趣旨
 - ・遠山郷学園小学校の再編について報告する。

(2) 令和8年飯田市議会第1回定例会の付議案件について 資料No.2

- ◇趣旨
 - ・令和8年飯田市議会第1回定例会の付議案件について報告する。
- ◇意見
(議会事務局長)
 - ・議案の補足説明資料の提出期限を厳守すること。提出予定がある場合は議会事務局の担当者に連絡すること。

(3) 令和7年度一般会計補正予算（第9号）について 資料No.3

- ◇趣旨
 - ・令和7年度一般会計補正予算（第9号）について報告する。

(4) 令和6年度飯田市財務諸表について 資料No.4－1～4－3

- ◇趣旨
 - ・令和6年度飯田市財務諸表について報告する。
- ◇意見
(市長)
 - ・基礎的財政収支（プライマリーバランス）が令和6年度マイナスとなった要因は何か。
(財政課長)
 - ・基金等の取崩しによる施設整備や経常的な人件費、物件費、社会保障費の伸び等がある。投資的経費が増えたことによる影響と考えている。
(市長)
 - ・要因となった事業の規模など詳細な分析を行うこと。
 - ・令和6年度だけなのか、経常的な課題となっているのか。
(財政課長)
 - ・令和7年度も同様な状況となることが想定される。
(市長)
 - ・現状のままでは持続可能性が担保されない。
 - ・説明できるよう十分に整理すること。

(5) 令和8年度当初予算発表資料について 資料No.5

- ◇趣旨
 - ・令和8年度当初予算発表資料について報告する。
- ◇意見
(議会事務局長)
 - ・当初予算の説明について、議員は財政課から概要の説明を受ける。ポイントになっている部分は、議員の注目度も高いため、丁寧な説明をお願いしたい。

(市長)

- ・部局として強調したい部分があれば、財政課へ伝えること。

(6) 令和8年度記者会見の日程及び広報いいた特集・テレビ広報制作計画について 資料No.6-1、6-2

◇趣旨

- ・令和8年度記者会見の日程及び広報いいた特集・テレビ広報制作計画について報告する。

(7) 第2次飯田市中山間地域振興計画 後期の取組（案）について 資料No.7-1、7-2

◇趣旨

- ・第2次飯田市中山間地域振興計画 後期の取組（案）について報告する。

(8) 地域経済活性化プログラム 2026 について 資料No.8

◇趣旨

- ・地域経済活性化プログラム 2026 について報告する。

◇意見

(市長)

- ・3ページの策定趣旨に複雑化、深刻化する課題として、中小企業等の賃金上昇が挙げられている。物価高を上回る賃金上昇が課題となる中、中小企業が多い当地域においては、賃金上昇の必要性を認識しつつも、中小企業の体力が厳しく、応えきれないという不安があることを踏まえ、記載内容を検討すること。

(教育次長)

- ・14ページの記載について、「飯田のキャリア教育」と「みらい創造科」はイコールではない。内容について打合せをさせていただきたい。

(議会事務局長)

- ・本計画は予算に反映される内容を含んでいる。他の計画では、予算に関わるものは開会前の全員協議会でご報告いただき、予算審査に臨むのがルールとなっていると認識している。来年度以降の発表の仕方を検討してもらいたい。

(9) 飯田市地域防災計画及び飯田市水防計画の変更について 資料No.9-1、9-2

◇趣旨

- ・飯田市地域防災計画及び飯田市水防計画の変更について報告する。

◇意見

(議会事務局長)

- ・議会へ報告しないのか。

(危機管理課長)

- ・当該委員会には議長及び総務委員長が委員としてご参画いただいているため、議会への説明は予定していない。

(市長)

- ・議会へも報告すること。

(10) 令和7年度の災害対応力強化の総括と令和8年度の取組について 資料No.10-1～10-4

◇趣旨

- ・令和7年度の災害対応力強化の総括と令和8年度の取組について報告する。

(11) 飯田市議会全員協議会（2/26）報告事項について 資料No.11

◇趣旨

- ・飯田市議会全員協議会（2/26）報告事項について報告する。

(12) 第1回定例会各委員会協議会報告事項について 資料No.12

◇趣旨

- ・第1回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

4 協議事項

(1) 組織機構の一部見直しについて 資料No.13－1、13－2

◇趣旨

- ・令和8年4月1日からの組織機構の一部見直しを行うこととする。

◇主な意見等

（市長）

- ・このタイミングで見直す理由を説明できるよう準備しておくこと

(2) 障がい者雇用に係る現状と求人について 資料No.14

◇趣旨

- ・障がい者雇用を普及していきたいとするもの

◇主な意見等

（市長）

- ・長年この状態が続いているため、組織として経験が不足しており、不安が先行しているのが現状である。まずは受入れから始め、個々の状況に合わせた対応をしながら、組織としての経験を積んでいく必要がある。困り事があればハローワークや人事課へ相談すること。

（市民協働環境部長）

- ・部局間で連携して取り組めることや全庁的に取り組めることもある。

（教育次長）

- ・業務内容を明確にした上で採用した方が良い。

（企画部長）

- ・採用後、部長会議でご報告いただき、他部局への展開を図ること。

(3) 「いいだ未来デザイン2028 2026（令和8）年度戦略計画」等について 資料No.15－1～15－4

◇趣旨

- ・当初予算の説明資料の確認をお願いするもの

(4) 2025年中の毎月人口異動調査に基づく当市の人口動態について 資料No.16～16－5

◇趣旨

- ・2025年中の毎月人口異動調査に基づく当市の人口動態の報告をするもの

◇主な意見等

（議会事務局長）

- ・若者の声を聞いた方が良い。地元に戻って楽しく働いている若者もいる。そうした人の声を発信できる場があると良い。地元に戻っても安心して働ける環境であることが伝われば、選択肢の一つになるのではないかと。

（総務部長）

- ・社会動態を見ると、転出が増えているのではなく、転入が減っている。飯田の暮らしや仕事について、各担当で課題抽出し、整理する必要がある。

（企画部長）

- ・今後、部長会議等で具体的な対策を検討する。

(5) 「飯田ひろば」実現のための基本方針の決定について 資料No.17-1～17-3

◇趣旨

- ・「飯田ひろば」実現のための基本方針を決定したいとするもの

◇主な意見等

(市長)

- ・大きな意味での方針はこの通りだが、検討すべき事項がある。この前提のもと方向性として決定し、関係者の意見を聞きながら、柔軟に対応していく。

5 閉 会